

① 学習指導案

プログラム	No.08 「わたしたちのまちに言葉の贈り物」
単元名 (全 時間)	大好きな羽沢のまちの良さをPRしよう
学習のねらい	羽沢のまちを調べたり、まちの魅力をPRしたりする活動を通して、自分たちの住むまちの魅力やそれを支える方の思いに気づき、その魅力をどのように発信するとより伝わるのか考えるとともに、地域に愛着をもち、これからも自分にできることをしていきたいという思いをもつようにする。
学習内容	1 駅開通をきっかけに自分たちのまちをPRしたいという思いをもつ 2 地域の良さについて、インタビューや体験を通して理解を深める 3 地域をPRする方法を考え、動画を作成する 4 地域のPR動画を区役所や駅で流していただき、自分たちの活動を振り返る
参考資料 準備品 実施場所等	・iPad ・小学校内及び地域

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
5	<ul style="list-style-type: none"> はざわの時間に身に付けた力やどんなことをしたいか整理し、見通しをもつ。 新駅への地域の方の思いや駅開発に込めた思いを町内会長のAさんや駅開発を行っているBさんから聞き、自分たちの活動の方向性について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> まちのために何かをしたいという思いを高めるために、羽沢の地域の自治会長の方の思いを知る機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> まちの発展のために活動している方々の思いや願いを理解している。 友達と協力して問題解決に取り組んだりアイデアを出したりしようとする。
15	<ul style="list-style-type: none"> PRポイントをテーマ別と分類し、情報を得るために、地域に詳しい方にインタビューする。 自分たちが調べたことを学校や他校、地域のお祭りで発表する。 もっと多くの人に伝える方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> まちに住む人のまちを大切にする思いに気付けるよう、たくさんの方から話を聞く機会を作る。たくさんの方の話を関連付けて整理していけるよう、学習内容を掲示する。 自分たちが捉えたまちの良さを発表する場をつくり、学習した内容に内容を整理する機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のPRポイントについて、主体的に調べている。 まちには自分たちの知らないことを知っている人がいることが分かる。


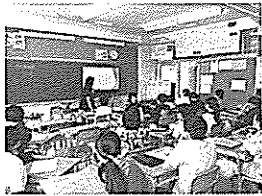

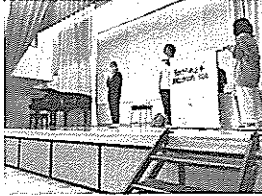
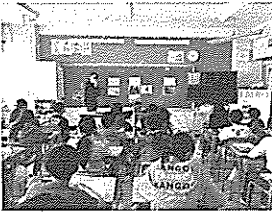
15	<ul style="list-style-type: none"> • 動画制作会社の方から動画作成の流れや内容の重要性をご指導いただく。 • 学校のPR動画を作成する中で、PR動画制作への理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> • 動画制作の方と出会う機会をつくり、動画制作の流れを理解する機会をつくる。 • PR動画の目的や方法を理解が深められるよう、学校をテーマに動画作成を行い、感想をいただく機会をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 友達と協力して問題解決に取り組んだりアイデアを出したりしようとしている。
25	<ul style="list-style-type: none"> • まちPR動画をどんな内容にするか話し合い、テーマを決めて取材を行う。 • 動画制作会社の方からアドバイスをいただきながら、動画制作の準備や取材を行い、動画を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> • まちPR動画を作成する上でどのようなものにするのか動画制作会社の方からアドバイスをいただく機会をつくる。 • グループに分かれて、動画制作を行い、取材や編集をする機会をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 対象と何を伝えるかを大切にしながら、まちのPR動画制作の見直しをもつ • 自分たちの作品への評価を素直に受け止め、次の制作に活かそうとする。
10	<ul style="list-style-type: none"> • まちの人に向けて、調べたことを伝える機会をつくり、PR動画の感想をいただいたり、区役所や協力していただける企業にプレゼンテーションを行い、動画を流す許可を頂いたりする。 • 自分たちの活動をふりかえり、今後の地域活性化や生き方について前向きに考えたり、感謝の気持ちを伝えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> • どんな内容を伝えると良いか考えたり、それに伴うプレゼンテーション資料を作成したりする時間をつくる。 • PR動画を流していただける企業に向けて、プレゼンテーションを行う機会をつくる。 • 自分たちの学習の成果を振り返ることができるよう、アンケートを分析する機会をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> • プレゼンテーションのために、伝える内容に適切な資料を作成しようとする。 • 自分たちが達成したことを振り返り、今後に生かしたいと考えている。

<留意点>

- 個人情報について十分に留意する。
- 撮影時の安全に気を付ける。

② 事業実施報告書詳細

学校名 羽沢小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
6	教室 体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちがどんな総合的な学習の時間をしたいのか話し合う。 ・まちに関心を持ち、まちの人がどんな思いをもっているのかを調べる。 ・自分たちの力でまちの魅力を再発見し、それを発信していくことで地域の人にまちに愛着をもってもらいたいという願いをもつ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのまちには、まちを盛り上げたいと思って行動している人がいる。 ・駅は、電車を利用するだけでなく、人が集まる場所にしたいという地域の方の願いがあることがわかった。 ・人がまちに愛着をもつとよりまちも活気づく。自分たちもそういった学習をしたい。
14	教室 地域	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色について、区役所の方からお話を聞く。 ・まちの文化や歴史、産業などをテーマとして捉え、それぞれ調べる。 ・知らべたことを学校内や地域の祭りで発表をする。 ・もっとたくさんの人に地域の魅力を知ってもらうためには、どうすれば良いかを考える。 	  	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のテーマは、「助けられ上手助け上手なまち」であり、他の地域よりも人のつながりがあるのが誇らしい。 ・学校隣の神社は、350年も歴史があつてすごい。 ・地域の名産といえば、キャベツだけどそれ以外にもたくさんの野菜がとれるし、たくさんの農家さんがいることがわかった。
15	教室 学校内	<ul style="list-style-type: none"> ・動画やポスターを使って、地域に魅力を伝えたいという願いをもつ。 ・動画作りを理解するために、動画制作会社の方に話を聞く。 ・実際に自分たちで学校のPR 		<ul style="list-style-type: none"> ・動画では、「誰に」「どんなことを」を伝えると良いかを考えることが大切だということがわかった。 ・動画には、動画のテロップやBGMが大切

		<p>動画を作成してみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが作った学校PR動画を先生方や動画制作会社の方に見ていただき、感想をいただく。 ・いただいた感想をまちのPR動画に活かそうと考える。 		<p>だということがわかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人に見てもらおうことで自分たちの気付かないことがわかった。 ・まちのPR動画では、人にスポットを当てたいな。
25	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな動画にすると良いかを動画制作会社の方に話を聞く。 ・地域のどんなところが魅力的なのかを話し合い、整理する。 ・グループに分かれて取材を行い、編集をして動画を完成させる。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな場所をPRしたいのか改めて考えてみるとたくさんのことを調べてきたな。 ・みんなで撮影したものが少しでも入るように分担して仕事ができだよ。 ・インタビューや撮影には許可が必要。さらに流すとなるとそれにも許可が必要だし、動画って実はすごく大変だな。 ・動画制作の方のアドバイスですごく活動が進んだよ。プロの方はすごいな。
10	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・制作した動画を見ていただくためにポスターを作成する。 ・区役所や協力していただける企業の方に向けてプレゼンテーションを行い、動画放映の許可をいただく。 ・地域の方の前でまちの魅力についてプレゼンテーションを行う。 ・自分たちの活動を振り返り、どんな力がついたのかを話し合う。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションは緊張したけど、伝わって嬉しかった。 ・協力することで大きなことが成し遂げられることがわかった。 ・感想をいただくとほとんどの人にまちの良さが伝わった。うれしいし、達成感を感じることができた。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">・学習のゴールを最初に共有することで、話し合いの中で何か困った時に当初のゴールに立ち返ることができた。地域の方に愛着をもってもらうことがゴールなので、そういう動画にするにはどうすれば良いかやどんなことを伝えと良いかなど決める時の1つの条件となった。・様々な方にご協力をいただくことで、子どもたち自身が地域への愛着を深めることができるようにした。まちには、たくさんの大人がいて、自分たちの知らないことを丁寧に優しく教えてくれる経験がまちへの愛着を深める要素として働いていた。・できるだけ動画という手段の中にも一人ひとりが参加できるよう役割をもたせた。何を伝えたいからどこを撮るのか、それを担当に分けて行うことができた。また、プレゼンテーションも代表児童ではなく、全員が参加して行うことが出来るようにした。・子どもたちが自分たちの活動に自信をもてるよう、本気で取り組む場面を作った。プレゼンテーションをしたから、動画を流す許可を得るなど本気で取り組まないといけな場面設定をすることで子どもの姿勢が大きく変わった。
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none">・様々な方にスケジュールを調整していただくことがすごく難しかった。一方、だからこそ人の温かさを感じることもできた。・動画には様々な種類のものであるのでどんなものにすると良いのかというベースがないと難しいことが分かった。動画制作会社の方に型を見せていただくことで子どもたちのイメージも共有できたと思う。・撮影許可・放映許可など許可を撮る難しさを感じた。
<p>(3) 児童の反応</p> <p>総合的な学習の時間の中で協力する機会を増やし、仲を深めることができたと思う。また、自分たちで作成した動画をたくさんの方に見ていただくことで、達成感を感じ、自己肯定感や集団としての肯定感を高めることができたのではないかなと思う。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>トライ&エラーを繰り返す中で、どんなことが子どもの実態と合うのか考えることが大切だと感じた。子ども達の考えを想像しながら取り組んできたが、なかなかそううまくいかないことが多かった。ある程度どんなルートでも教師が学ばせたいことが学べるような幅広い見通しが必要だということに気が付いた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>子どもの実態や一人ひとりがもっと自分の役割を認識して本気で取り組めるような学習材を選べるようにしたい。今回はたくさんの方にご協力をいただき、大きなスクリーンで放映したり、地域の方の前でプレゼンテーションをしたりすることができたことで達成感をあがったと思うが、一人ひとりの役割がもっとはっきりして本気で取り組めるような学習材を選ぶことがより子どもたちの充実感を生むのではないかなと考える。そのためには、子どもそれぞれの見取りとそれにあった支援を日々の学習の中でも考えていきたいと思う。</p>